

令和元年度第1回恵那市上下水道事業経営審議会 議事録

日時：令和元年11月8日（金）
午後1時30分から3時30分頃まで
場所：市役所会議棟 中会議室

出席委員：藤下和也委員、堀 鑛委員、前川 登委員、西尾博隆委員、安田和弘委員、丸山文憲委員、坪井弥栄子委員、瀬瀬錬一委員、遠藤武平委員、池戸克行委員、西尾公男委員、水野和一委員、三宅英男委員、堀 恒夫委員、安藤常雄委員、永野 司委員 16名出席

欠席委員：舘林繁伸委員 1名欠席

事務局：小坂喬峰市長（委嘱書交付・あいさつまで）

太田敦之水道環境部長、原章之上下水道課長、永治治課長補佐、安部尚紀下水道総務係長、阿部克則水道総務係長、原久晃水道総務担当係長、伊藤輝彦下水道総務係主査

傍聴者：1名

1 開会（会議の公開について）

2 委員の委嘱

3 市長あいさつ

4 会長、副会長の選任

会長に西尾博隆委員、副会長に前川登委員が選任された。

5 会長あいさつ

6 次第（議事）

（1）恵那市上下水道事業経営審議会について

【質疑応答】無し

（2）恵那市の上下水道事業について（概要説明）

【質疑応答】

委員：資料の下水道の使用料の計算で消費税が8%になっているが、10月の消費税の増税により増額となっているのか。

事務局：資料として提出した冊子が平成28年度作成のものでしたので、8%のままでしたが、消費税の税率変更にともない、10%になっています。

（3）平成30年度 決算及び事業実施状況について

①恵那市水道事業

【質疑応答】

委員：配水管の耐震化はどのように行われていますか。

事務局：今までは、老朽管更新事業という補助メニューで更新を行ってききましたが、国において補助メニューが終わることから、今後は、補助メニューである重要給水施設排水管更新事業、これは、指定病院や、避難所となる小学校、コミュニティセンター、福祉施設等へ給水するための配水管の更新

を行う事業ですが、こういった補助事業や、必要に応じて、市の単独事業により整備を行ってまいります。

委員：10ページの決算指標の総計に簡水等合計が含まれていないようだが、総計には簡水等の合計を含める必要があるのではないか。

事務局：表示の仕方がわかりにくく申し訳ありませんでしたが、表中の中野方町・笠置町河合から上矢作町までが、簡水ですので、簡水等合計は、その合計となっていますので、総計は簡水等合計を含んだ数値となっています。

委員：9ページの、経営分析の表中の、給水原価が、平成29年度から大きく増加しているのはなぜか。

事務局：平成29年度から上水と簡水を統合したことにより、平成28年度までは上水のみ金額、平成29年度以降は簡水を含んだ金額となっています。

委員：9ページの、県水単価と自己水単価の違いはどういうことか

事務局：県水単価は、県水からの取水量によって計算される県水の購入単価です。自己水単価は自己水を作るための経費ですが、平成29年度からは簡水を統合したことにより増加しています。

②恵那市公共下水道事業、③恵那市農業集落排水事業

【質疑応答】

委員：上水も含めてだが、決算の差し引きだけの説明では、結果だけで算数でしかない。こういう事業計画の中でどれだけ必要というのがあって、結果としてこうなったという説明が必要ではないか。

事務局：今のご意見は、予算と決算ということでしょうか。必要額については、次の、今後の見通しで説明させていただきます。

(4) 恵那市水道事業収支計画の見直しについて

【質疑応答】無し

(5) 恵那市上下水道事業の法適化について

委員：資料6の恵那市下水道事業会計収支シュミレーションの中段の、損益勘定内部留保資金はだんだん少なくなっているのに、下段の内部留保資金はだんだん増えているのはなぜか。また、二つの内部留保資金の関係はどうなっているのか。

事務局：損益勘定内部留保資金は、単年度の損益取引で増減をします。人口減少に伴う収入減が要因としてシュミレーションを作成しました。下段の内部留保資金につきましては、単年度の損益取引・資本取引の差額が留保資金として貯まってきますので、増加する見込みを立てています。

委員：将来の収支について、シュミレーションが示されているが、過去に行ったシュミレーションについて、実際の決算額との比較は行われているのか。過去のシュミレーションが正しかったのかどうかの検証をすることが必要ではないか。

事務局：下水道事業の複式簿記によるシュミレーションは、今回が初めてなので、

今の段階では、過去の検証はすることはできませんが、今回のシュミレーションについては今後検証を行って行きます。

7 その他

事務局より次回の上下水道事業経営審議会の予定について説明

8 閉会（副会長あいさつ）